

平成29年度 指標・目標値達成状況報告書

基本 目標	コ ー ド	指標名	H29年度			計 画 目 標 値 (H33)	是正計画 (H30.5作成)		監視項目 (155項目) 中の 遅れ気味・遅延の施策
			目標値	実績	目標 達成		原因	是正計画	
① 循環型 社会の 実現	11	ごみの総排出量	127,683t	128,314t	×	124,724t	家庭ごみでは、広報ながので周知、「ごみダイエツチェック表」等6種類のごみ減量・分別啓発チラシを作成、各種媒体で啓発し、事業系ごみは、清掃センター搬入時の検査の回数を増やし、飲食店を中心に個別訪問等実施したが目標達成には至らなかった。	家庭ごみは、平成31年3月に新焼却施設が稼働することから可燃ごみの減量に関する啓発の機会と捉え、特に食品ロス削減について、広報ながのや市政放送等で啓発する。 事業系ごみは、清掃センター搬入時の検査を強化し、多量排出事業所への立ち入り調査等を行い、ごみの減量・分別の徹底について啓発する。	全35項目 (遅れ気味 2項目) ・家庭ごみの発生抑制の推進 →マイバック持参率は、中年・高齢者層については、スーパー等での店頭啓発等でマイバックを持参するという意識が高まったものの、目標達成には至らなかった。 ・社会的責任を意識した事業活動の推進 →ながのエコ・サークル認定件数は、制度の見直しを行い、地球温暖化対策部門を新設、広報ながのや市政放送、新聞などの媒体を利用した周知を行ったが認定件数は3件に留まった。
	12	市民の一人1日当たりのごみ排出量	425g/人・日	421g/人・日	○	411g/人・日			
	13	事業系ごみ年間排出量	40,036t	39,605t	○	39,757t			
	14	マイバック持参率	68.4%	60.3%	×	80.0%	中年・高齢者層については、スーパー等での店頭啓発等でマイバックを持参するという意識が高まったものの、目標達成には至らなかった。	スーパー等での店頭啓発等に加え、小学生向けのパンフレットを作成し、長野市清掃センター見学時に配布をする。保護者世代である若年代への啓発を進めることで全世代的に啓発を進めていく。	
② 良好な 生活環境 の保全	21	大気環境基準達成項目数	15項目	15項目	○	15項目			全16項目 (遅れ気味 1項目) ・まちの美化の推進 →増加傾向にあるポイ捨てに対し、ポイ捨てにつながりやすい歩行喫煙を条例により禁止する (H30. 4 施行) とともに、事前街頭啓発を増やした結果、減少に転じ歯止めをかけることはできたが、目標達成には至らなかった。
	22	市内中小河川13河川のBOD平均率	2.0mg/ℓ以下	1.4mg/ℓ以下	○	2.0mg/ℓ以下			
	23	地区環境美化活動のごみ回収量	24,800 kg	16,170 kg	○	21,500kg			
	24	ポイ捨て吸い殻本数 (月平均本数:長野大通り10か所)	70本	116本	×	70本	増加傾向にあるポイ捨てに対し、ポイ捨てにつながりやすい歩行喫煙を条例により禁止する (H30. 4 施行) とともに、事前街頭啓発を増やした結果、減少に転じ歯止めをかけることはできたが、目標達成には至らなかった。	ポイ捨て・歩行喫煙を許さない市域全体でのムードづくりと、直接、ポイ捨て、歩行喫煙者に注意・指導を行うなど、より効果的な施策を展開していく。また、喫煙所の設置(あり方)について、検討する。	
③ 豊かな 自然環境 の保全	31	豊かな自然環境が保たれている	73.6%	71.6%	×	73.6%	外来種駆除などの保全活動や自然を活用したイベントを実施したが、全市を対象としたアンケートでは、市民の豊かな自然環境に対する関心向上は見られなかった。	生物多様性、希少種保護等に関する事業において実施する、外来種駆除、環境学習会、自然を活用したイベントの様子を広く市民に周知するため、新聞に掲載してもらう(平成30年度12月までに3回)。	全23項目 (遅れ気味 1項目) ・森林の安定的かつ健全な利用の推進 →林道・林業専用道開設は、国の補助内示額減により全体計画が遅れている。
	32	間伐面積(累積面積)	7,438ha	7,320ha	×	9,500ha	国の造林補助事業(間伐事業)の制度が、切り捨て間伐から搬出間伐に移行となる大きな見直しが行われた中、林業事業者等において事業計画の大幅見直し、作業地や作業方法の検討が行われ事業を進めているが目標値に至らなかった。	今後においても林業事業者等と協力し、作業地の掘り起しや作業方法等の検討を進めて行くと共に、国や県の税事業を始めとする新たな事業等を活用していく。 また、森林組合等を通じて森林所有者(組合員)へのPRを行う。	
	33	森林体験参加者数(年間人数)	2,150人	2,729人	○	2,150人			
	34	エコファーマーの認定者数	1,049人	813人	×	1,089人	認定機関である県と協力して新規及び更新の申請を呼びかけたものの、29年度は認定から5年経過後の失効者が多数に上り、目標の認定者数を達成できなかった。	農業委員会や農業青年協議会の勉強会等において、認定制度の周知を図ることに加え、新たに農業研修センターにおいて、認定を受けた先進農家の視察研修(7月予定)や環境にやさしい農業を目指す農業者向けの講座(2月予定)を実施して、農業者の自主性も尊重しながら認定者数の増加を図っていく。	

基本目標	コード	指標名	H29年度			計画目標値(H33)	是正計画(H30.5作成)		監視項目(155項目)中の遅れ気味・遅延の施策
			目標値	実績	目標達成		原因	是正計画	
④ 豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積(都市計画区域内)	7.63㎡	7.68㎡	○	9.19㎡			全24項目(遅れ気味 なし)
	42	市内中小河川9河川の水質階級	11点	10点	○	11点			
	43	景観やまちなみが美しい地域である	58.2%	55%	×	62.2%以上	景観賞の募集や、景観賞・ながの百景めぐりの実施など行政による景観啓発活動のほか、市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動は各地で行われているが、全市を対象にしたアンケートでは市民の景観に対する関心上は見られなかった。	H30.10.1より改正景観計画を施行し、景観を阻害するような建築物や工作物は、 届出制度や事前協議制度により周辺の景観と調和するよう誘導 していくことにより、市民の景観への満足度向上を図る。 景観啓発事業として、景観賞・ながの百景めぐりを年3回(7月、10月、3月予定)実施し、 市民自身が住む周辺の景観への関心上を図っていく。	
⑤ 低炭素社会の実現	51	温室効果ガス年間排出量	*1,991,700 t-CO2 (H26)	2,311,778 t-CO2 (H26)	×	1,878,400 t-CO2	電力及びガス等の使用量は減少したが、温室効果ガス排出量を算定するための電力の排出係数が基準とした平成24年度と比べ平成26年度は高くなったため、目標達成に至らなかった。(電力排出係数 H24年度(基準年)0.373 H26年度 0.494)	特に 事業所・家庭 に向けた啓発を継続して進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図る。事業所向け温暖化対策支援サイト、小・中学生に配布する環境情報紙などを通じて、 低炭素行動を促すための情報発信 を行う。	全40項目(内 再掲18項目) (遅れ気味2項目 内 再掲1項目) ・ 事業者の省エネルギー活動の啓発推進 →ながのエコ・サークル認定件数は、制度の見直しを行い、地球温暖化対策部門を新設、広報ながのや市政放送、新聞などの媒体を利用した周知を行ったが認定件数は3件に留まった。 ・(再掲: 森林の安定的かつ健全な利用の推進) →林道・林業専用道開設は、国の補助内示額減により全体計画が遅れている。
	52	市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量	*14.45 kg-CO2 (H26)	16.77 kg-CO2 (H26)	×	14.08 kg-CO2	電力及びガス等の使用量は減少したが、温室効果ガス排出量を算定するための電力の排出係数が基準とした平成24年度と比べ平成26年度は高くなったため、目標達成に至らなかった。(電力排出係数 H24年度(基準年)0.373 H26年度 0.494)	「指標・目標コード51 温室効果ガス年間排出量」を人口及び日数で割った数値であるため、家庭のみならず、 事業所に向けた低炭素行動を促すための啓発を継続して進める ことで、温室効果ガス排出量の削減を図る。	
	53	太陽光発電設備規模(累計)	*110,000kW (H28)	113,177kW (H28)	○	160,000kW			
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値	230,000ℓ	245,420ℓ	○	330,000ℓ			
	55	再生可能エネルギーによる電力自給率(発電設備容量)(%)	*45% (H28)	46.2% (H28)	○	60.0%			
⑥ 行政の連携強化と人づくりの推進	61	環境保全活動参加者数	4,300人	4,629人	○	4,700人			全17項目(遅れ気味 なし)
	62	環境学習会年間参加者数	5,200人	5,159人	×	5,200人	ホテルの観察会などの屋外での学習会が、天候不良の日が多く、参加者数が伸びなかったため	市民の環境に対する意識向上を図るため、引き続き実施していくとともに、自然観察会などの天候に左右されてしまう学習会について、天候不良の場合に備え、 予備日や代替内容を検討 する。	

* 平成29年度に報告できる実績に対する目標値
○ 平成29年度目標値を達成
× 平成29年度目標値が未達成

22指標中
達成 12指標
未達成 10指標

155項目中(内 再掲18項目)
順調・概ね順調: 149項目(内 再掲17項目)
遅れ気味: 6項目(内 再掲1項目)
遅延: 0項目